

事務事業名	環境美化員活動事業		所属部局	市民部		単位番号	4105						
			所属課室	環境課		課長名	深澤政樹						
			所属担当	ごみ減量化推進担当		担当者名	小笠原良仁						
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目		
		20	快適生活環境の整備		01	一般	0	4	0	2	0	2	0
政策		33	生活環境の保全	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）				法令根拠	環境美化員設置要綱							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ごみの適正な処理及びその減量化を進め、良好な環境を保持するために設置されている。また、市民と市が協力してきれいで快適なまちをつくるため、ごみ集積場所の管理及び収集日の遵守等の指導、ごみ収集への協力、分別収集の徹底への啓発、ごみの減量化に関する啓発、地域の環境美化活動の実施、清掃活動への協力、廃棄物の不法投棄の監視及び指導、環境美化及び環境保全に関し、市と連絡調整を図るなどの役割。			事業費の主な内訳（22年度）									
				項目(細節)				金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				報奨金				2,928					
				消耗品費				375					
				食料費				138					
				使用料				20					
				計				3,461					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	地域の可燃・不燃粗大ごみ収集時の出労。ごみ集積所等の管理及び指導。合計、390名を委嘱。
23年度活動予定	本年も同様の活動を計画 ※429名を委嘱
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
環境美化員による指導、啓発等により、分別収集の徹底と良質な環境を作る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域の環境保全	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 環境美化員の数	人
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 市内世帯数	戸
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 粗大ごみの収集回数	回
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 環境美化員の出労回数	回
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	3,682	3,322	3,695	3,519	3,520	3,520	
	事業費計 (A)		千円	3,682	3,322	3,695	3,519	3,520	3,520	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6		
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20		
		人件費計 (B)	千円	89	89	79	79	79	79		
		(A)+(B)	千円	3,771	3,411	3,774	3,598	3,599	3,599	0	
活動指標		アイ	人	365.0	390.0	400.0	400.0	400.0	400.0		
		ウ									
対象指標		アイ	戸	24,876.0	25,448.0	25,470.0	25,470.0	25,470.0	25,470.0		
		ウ									
成果指標		アイ	回	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0		
		ウ									
上位成果指標		アイ	回		723.0	723.0	723.0	723.0	723.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併以前の旧町村時代より取組んできた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	積極的に取組んでいる地域とお役目でやっている地域が明確になる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	任命の方法、職務の内容、係わる時間等地域によって格差がある。今後は検討の中で集約を図る。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	昨年度では、業務等の格差については是正してこなかった。ただし、本年度は、検討会を立上げ少しでも業務の統一化を図りたい。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	環境美化員会活動事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地域の環境美化活動の指導的な立場となっている。(リサイクル・ゴミの搬出方法等)			
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 環境美化員会の運営については、各地区で対応し、市全体の連絡会を立上げ事務局を持つ方法がある。ただし、設置要綱の一部改正が必要。			
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 設置要綱の一部改正を行い、要綱の中に「連絡会」を構成する条文を入れる。			
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 環境美化員の任命方法が地区により異なるため、環境美化員の人数に差がある。このため統一化を検討していく。			
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 リサイクル推進に関する事業として集約可能 ☒ 類似事務事業がない			
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 指導・監視的立場の人がいなくなり、ごみ集積所の運営に支障をきたす。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 指導・監視的立場の人がいなくなり、ごみ集積所の運営に支障をきたす。			
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ボランティア活動的な事業となっており、報奨金については、粗大ごみ収集時の出労への報償となっている。ただし、地区の中には、ごみの諸問題の全権を任されているところもあり、業務についても集約できるよう検討する。			
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 報償金以外については、事務的経費となっている。			
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 選任の方法等検討会への提案し、地区ごとの実情を理解してもらう。			

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	環境美化員の選任方法、業務の内容に格差がある。検討委員会の中で検討課題として取り上げ、集約を図ってきたい。また、報奨金については、自主運営を推進し、今後減額を検討していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①類似事業への統一が可能。(リサイクル推進活動事業として取組む) リサイクル推進事業、ごみ出しルール作成お知らせ事務																								
②美化員数の人数、報酬、業務等の根拠が要綱に無い、要綱に明記する。																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①予算科目の集約		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					